

REX-PCI30HXのLinuxでの動作について

ラトックシステム株式会社

はじめに

本ドキュメントでは、Linux 上で REX-PCI30HX を動作させるための情報を提供しています。

REX-PCI30HX は、SCSIコントローラとして米国 Advansys社製（現在は、社名をConnectComと変更しています。URL: <http://www.connectcom.net>）のASC3050を搭載しています。

このASC3050用のLinuxドライバは、日本で販売および配布されている最新バージョンのLinux ディストリビューションにはほとんど含まれており、ドライバファイル名は、「advansys.o」、ソースファイル名は「advansys.c」となっています。

REX-PCI30HX もこのASC3050用のLinuxドライバを使用することによりLinux上で動作させることが可能です。

ここでの説明では、Linux ディストリビューションの Kondara MNU/Linux 1.1での作業を例に説明していきます。Kondara MNU/Linux 1.1での Kernel の Version は 2.2.14-5k4 となっています。

また、rootユーザでログインしてすべての作業を行ってください。

モジュールの確認

(1) ドライバモジュールファイル (advansys.o) の起動

advansys.o ドライバモジュールファイルを insmod コマンドで起動します。

```
# insmod /lib/modules/2.2.14-5k4/scsi/advansys.o
```

(2) 起動の確認

以下のメッセージが表示されます。

```
scsi0: AdvanSys SCSI 3.2M : PCI Ultra 16 CDB: IO E400/F, IRQ10  
scsi : 1 host.
```

/var/log/messages にエラー等の情報が格納されるので確認してください。

モジュールのインストール

上記で正常に起動することが確認されたら、Kondara のインストールを起動してアップグレードを行います。

インストールタイプの指定画面で「アップグレードインストール」をチェックして、アップグレードを実行するだけで自動的にボードを認識してブート時にドライバが起動するよう変更されます。（アップグレード作業中にSCSIに関して特に設定する画面や表示メッセージはありません。）

他の Linux ディストリビューションについて

動作確認済みディストリビューション

TurboLinux Workstation 日本語版6.0, TurboLinux 4.5

RedHat 6.2, 6.1

Kondara 1.0

VineLinux 2.0, 1.1

Omoikane GNU/Linux 1.0

make による module の再コンパイルやカーネルの構築を行う場合は、Linux でのモジュールの開発環境がセットアップされている必要があります。セットアップ方法については、ディストリビューションの販売元（ディストリビュータ）にお問い合わせください。

上記以外の Linux ディストリビューションの情報については、弊社ホームページでご確認ください。

SCSI コンフィギュレーションの設定について

現在、Linux上でREX-PCI30HXに対してSCSIコンフィギュレーションを設定するツールは提供されておりません。

SCSIコンフィギュレーションの設定が必要な場合は、Windows98/95等にて設定願います。

今後、Linux用SCSIコンフィギュレーションユーティリティをインターネット上で提供して行く予定です。

サポートについて

本紙および弊社ホームページに記載のインストール方法のみのサポートを行います。

SCSI 機器の動作方法については、サポートを行いません。

また、各種パソコンとの Linux における検証を行っておりませんので、パソコン環境に対する動作可否についてもお答えできません。

その他ご不明な点につきましては、弊社ホームページの Linux 情報のページからメールにてお問い合わせください。

以上